



12月号 おはなだより



2022年12月1日発行
病児保育おはな
看護師：田上ともみ



子どもたちにとっては、クリスマスに冬休みとお楽しみがいっぱいの月ですが、年末年始は外出や来客なども多く、生活リズムが乱れがちです。また、感染症も流行る時期です。体調管理には十分気を配っていきましょう。



☆感染性胃腸炎に注意しましょう

- ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。
- 下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、まめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行ってください。
- 【潜伏期間】ロタウイルス…1～3日 ノロウイルス…12～24時間
- 【症状】嘔吐・水のような下痢
- *症状が回復しても、その後1～2週間、便と共にウイルスが外に出ると言われている為、排泄物の処理後は手洗いを念入りにしましょう。



子どもの交通事故について

- 日が沈むのが早くなってきました。夕方は日が暮れて視界が悪くなる時間帯です。車の運転手が子どもの姿を認識しにくくなる事から交通事故が発生しやすくなります。また、子どもも大人も夕方は一日の疲れが出て注意力が低下します。
- 交通事故予防には車の安全運転・子どもへの安全教育が重要です。下記の項目に注意しながら交通ルールを守っていきましょう。

送迎時の保護者

- 子どもの手をしっかり握る
- 車が通る側には保護者が立つ
- 駐車場では子どもを自由にさせない

運転手

- 「子どもが飛び出てきたり車の周囲にいるかもしれない」と普段以上に意識して緊張感をもって運転する
- ゆずり合いの気持ちを持ち時間にゆとりを持つ
- あおり運転は絶対しない



プレスクール開催のお知らせ

12月17日(土)

おやつを試食会を予定しておりましたがコロナウイルス感染拡大に伴い、予定を変更して**園庭開放(砂場遊び)**を計画しています。感染対策のため 3組限定とさせていただきます。病児保育の事前登録も同時開催しております。お気軽にお電話でお問い合わせ下さい。



新型コロナウイルス・季節性インフルエンザ 同時流行への備えを！

- 感染拡大する前の接種をご検討ください
- ・新型コロナワクチンの接種
- ・インフルエンザワクチンの接種
- 発熱などの体調不良時に備えておきましょう
- ・新型コロナ抗原定性検査キット
- ・かかりつけ医・休日当番医・電話相談窓口の連絡先を把握しておく
- ※年末年始に帰省を検討されているご家族も多いかと思えます。帰省先の医療機関の確認もしておくくと安心です。(母子手帳・お薬手帳・保健証の準備も忘れずに。)



室温管理・換気

- 部屋の中を温め過ぎると、空気が乾燥し、具合の悪くなる子が出てきます。設定温度は18～20℃を目安に、なるべく足元を中心に温め、上半身は温め過ぎないようにしましょう。また、1時間に1回は窓を開けて空気の入替えを行いましょう。湿度が50%以下になると、皮膚の乾燥が始まると言われています。加湿器などで部屋の湿度を保ちましょう。加湿器がなくても、室内に洗濯物を干したり、コップ一杯の水を暖房器具の近くに置いたりすることで、部屋が乾燥しにくくなります。特に乳児は、冬場だけでなく一年を通したスキンケアが欠かせません。医師や薬剤師に相談して、子どもの肌質や年齢に合った保湿剤を見つけておくのもよいでしょう。



11月 病児保育	ご利用状況
上気道炎：1名	急性上気道炎：2名
喘息様気管支炎：2名	感冒：4名
ヘルパンギーナ：1名	咽頭炎：3名
急性気管支炎疑い：1名	
計：14名	